

岡山県感染症週報

2011 年 第 45 週 (11 月 7 日 ~ 11 月 13 日)

※第 46 週 週報は 11 月 23 日(水)が祝日のため、28 日(月)にホームページに掲載いたします。

【お知らせ】12 月 1 日は『世界エイズデー』です。

岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2011 年 第 45 週 (11/7 ~ 11/13) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第 43 週 2 類感染症 結核 1 名 (50 代 男)
 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (60 代 女)
 第 44 週 4 類感染症 レジオネラ症 1 名 (60 代 男) の報告がありました。

■定点把握感染症の発生状況

- RS ウイルス感染症は、過去最も多い状態です。
- 感染性胃腸炎は、岡山市・倉敷市・美作地域で発生が多くなっています。
- インフルエンザは、全県で 10 名の患者報告がありました。
- 手足口病は、2 週つづけて患者が増加しました。
- 流行性耳下腺炎は、患者数が減少し、感染症発生レベル 2 が継続していた備中地域もレベル 1 になりました。

1. 12 月 1 日は『世界エイズデー』です。『エイズとわたし ～支えることと 防ぐこと～』岡山県では『世界エイズデー (12 月 1 日)』の関連事業として、エイズに関する正しい知識等についての啓発活動及び、夜間等の HIV 抗体検査を実施いたします。詳しくは『今週の注目感染症』をご覧ください。
[【岡山県からのお知らせ 平成 23 年度「世界エイズデー」の実施について】](#)
2. **RSウイルス感染症**の定点あたり患者数は、過去最も多い状態です (定点あたり 0.74 人)。患者 40 名中、1 歳未満の乳幼児が 23 名報告されており、特に乳幼児では重症化して入院を要することもありますので、注意が必要です。
3. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は増加し (定点あたり 4.52 → 5.37 人)、特に岡山市 (5.57 人)、倉敷市 (5.82 人)、美作地域 (9.00 人) で患者発生が多くなっています。冬はロタウイルスや、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生が多く、例年 11 月下旬頃より患者の増加が見られます。手洗いを励行するなど感染予防に心がけましょう。
4. **インフルエンザ**は、全県で 10 名の患者報告がありました (定点あたり 0.12 人)。県内の発生はまだ散発的ですが、前週の倉敷市、備中地域に加え岡山市、備北地域でも報告があり、発生地域が広がっています。全国集計第 44 週速報値 (10/31~11/6) によると、全国では定点あたり 0.12 人、第 35 週以降患者増加がつづいています。今シーズン (2011/9/5 ~) 第 44 週現在、全国で検出されたインフルエンザウイルスは AH3 型が 53 件、B 型が 14 件、AH1 pdm09 型が 1 件報告されています。
[\(国立感染症情報センター インフルエンザウイルス分離・検出速報 2011/2012 シーズン \)](#)
5. **手足口病**の定点あたり患者数は全県で患者増加がみられ (定点あたり 1.72 → 2.20 人)、11 月上旬としては過去 10 年で最も多くなりました。3 歳以下の幼児が全体の約 80% を占めています。
6. **流行性耳下腺炎**の定点あたり患者数は減少し (定点あたり 1.15 → 1.02 人)、感染症発生レベル 2 が継続していた備中地域もレベル 1 になりました (定点あたり 4.14 → 2.71 人)。
7. **腸管出血性大腸菌感染症**は、今年はいくまでにも 64 名の発生がありました。11 月は 1 名の発生があり、発生は減少していますが、ひきつづき注意が必要です。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		★★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

前週からの推移： 2倍以上の減少 1.1～2倍未満の減少 1.1未満の増減
 1.1～2倍未満の増加 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし ★僅か ★★少し ★★★やや多い ★★★★多い ★★★★★非常に多い

※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

後天性免疫不全症候群（エイズ AIDS）

12月1日は『世界エイズデー』です。 『エイズとわたし ～支えることと 防ぐこと～』

我が国では、1日に約4人の割合で新たなHIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染者・エイズ患者が報告されています。岡山県では、HIV感染者の早期発見、HIVのまん延防止、患者や感染者に対する偏見・差別の解消を図るため『世界エイズデー（12月1日）』の関連事業として、エイズに関する正しい知識等についての啓発活動及び夜間等のHIV抗体検査を実施いたします。このうち備前・美作保健所の検査日には、検査当日に結果をお知らせできる迅速検査を無料・匿名で受けることができます。（要予約）

○**県保健所・支所における世界エイズデー関連検査実施日時・啓発活動等はこちらから**

[【岡山県からのお知らせ 平成23年度「世界エイズデー」の実施について】](#)

県保健所・支所における検査の予約は、検査実施日前日17時まで、美作保健所では前週の金曜17時まで予約を受け付けており、希望者は梅毒・性器クラミジア感染症検査も同時に受けることができます

○**岡山市保健所、倉敷市保健所のエイズ・性感染症相談、検査はこちらから**

【後天性免疫不全症候群（エイズ AIDS）とは】

後天性免疫不全症候群は、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）というウイルスに感染することによって起こります。HIVに感染すると、自覚症状のない時期が数年から10年以上つづき、病気がたたかう抵抗力（免疫）が次第に低下して、さまざまな感染症やがんなどを発症するようになります。この状態がエイズです。

HIV感染者 = HIVに感染しても、エイズを発症していない人

エイズ患者 = エイズという病気を発症した人

【感染経路は？ 予防は？】

HIVの主な感染経路は、次の3つです。

(1) **性行為による感染**（相手がウイルスをもっていると粘膜や傷口から感染します。）

(2) **血液による感染**（注射の回し打ちなど）

(3) **母親から赤ちゃんへの母子感染**（妊娠中母体内で、また出産、授乳時に）

学校や職場など、ふだんの生活では感染しないことがわかっています。唾液・汗・涙などでは感染することはありません。最大の感染予防法は、コンドームを正しく使用するなどのSafer Sex（より安全な性行為）を実行することです

【岡山県の状況】

エイズ発生動向調査によると、2010年の岡山県における報告者数はHIV感染者11名、エイズ患者（いきなりエイズ※）11名です。「いきなりエイズ」の人口10万対報告件数は全国第4位（0.566）となっています。

「いきなりエイズ」はエイズ発症前に治療を開始した人に比べ、治療が困難な場合があります。

「いきなりエイズ」は、HIV検査を受けることにより防ぐことができ、気づかぬうちにあなたの大切な人にうつしてしまうことを防ぎます。

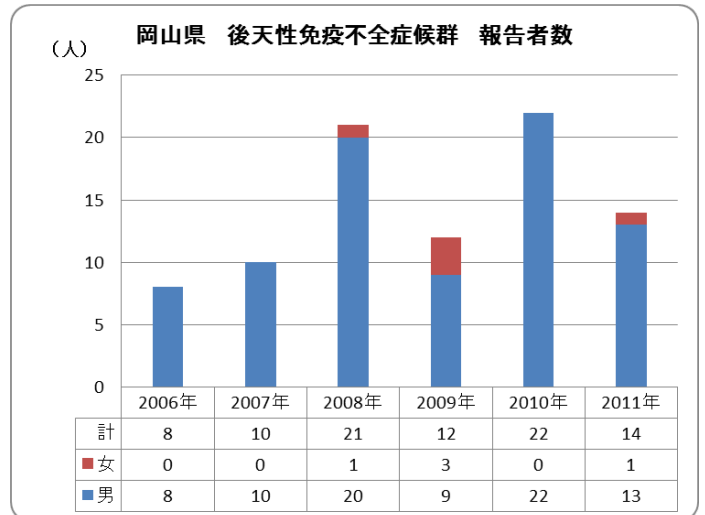
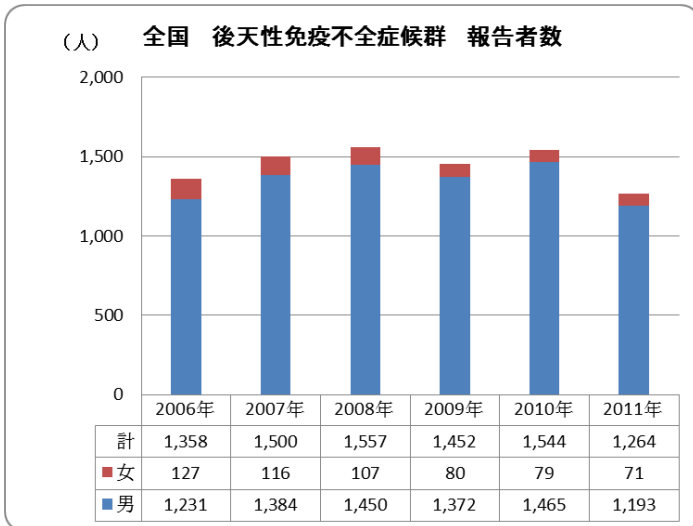
[【岡山県健康推進課 エイズストップ作戦の推進】](#)

※いきなりエイズ：HIVに感染した人が、何も治療を受けないままエイズを発症して、初めてHIVに感染していたことを知る状態。

全国と岡山県の後天性免疫不全症候群発生状況

※エイズ発生動向調査より

2011年は11月13日現在



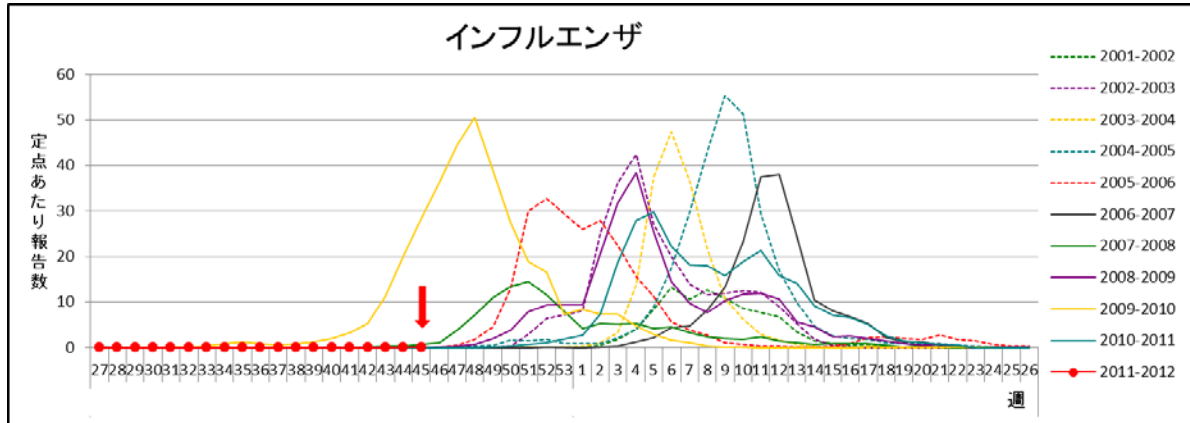
保健所別報告患者数 において 数字 は感染症マップにおいて レベル3
数字 は感染症マップにおいて レベル2 を示しています。

インフルエンザ情報 第 45 週 2011 年 11 月 7 日 ~ 11 月 13 日

※第 46 週 インフルエンザ情報は 11 月 23 日(水)が祝日のため、28 日(月)にホームページに掲載いたします。

岡山県の流行状況

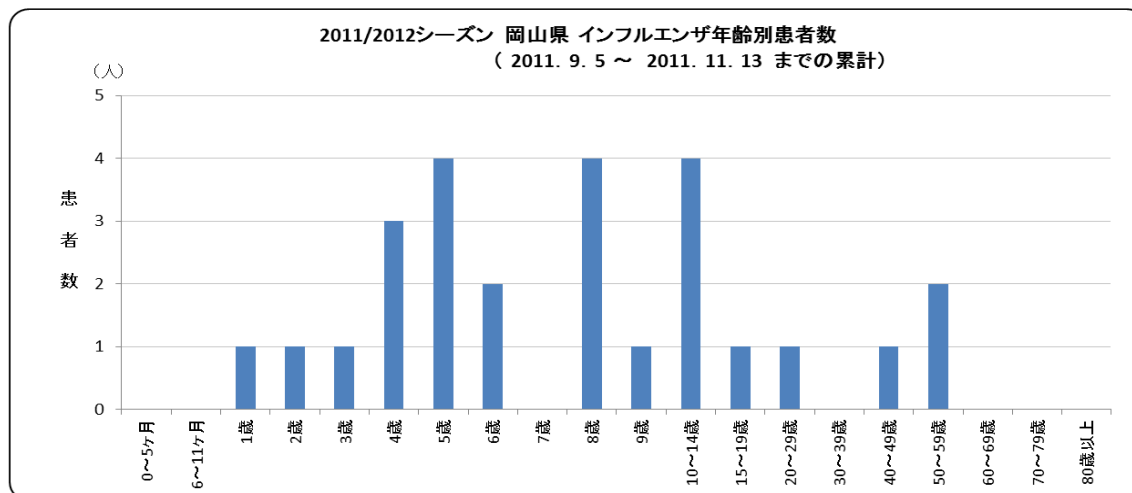
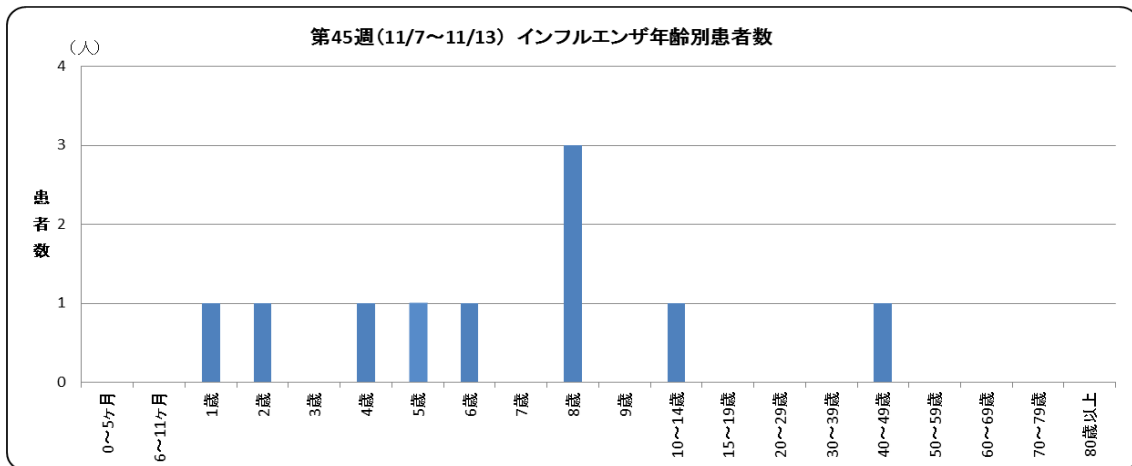
- 岡山県内の患者報告数は 10 名、定点あたり 0.12 人（定点医療機関 84 定点）でした。
- 患者報告は、岡山市、倉敷市、備中地域、備北地域と広域にわたっています。
- インフルエンザによる入院が、第 44 週に 1 名ありました。
- インフルエンザの本格的な流行はまだですが、10 月末には学校での臨時休業も発生していますので、手洗い・うがいを励行し感染予防を心がけましょう。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、今年 27 週 ~ 翌年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザは、岡山市で 1 名、倉敷市で 4 名、備中地域で 4 名、備北地域で 1 名の発生がありました（84 定点医療機関 定点あたり 0.12 人）。県内の発生はまだ散発的ですが、患者発生地域は広がってきています。各年齢で患者発生が見られますが、乳幼児や高齢者の患者はまだ報告がありません。第 44 週に、インフルエンザによる入院が 1 名報告されました。

年齢別患者発生状況 第 45 週（11/7～11/13）

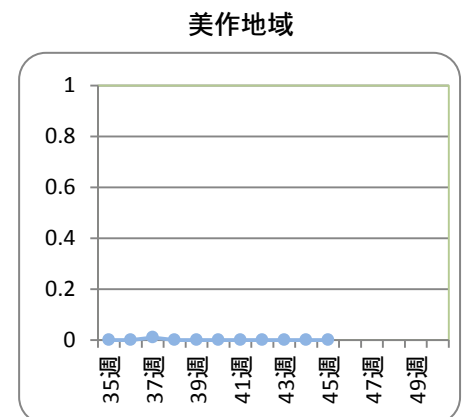
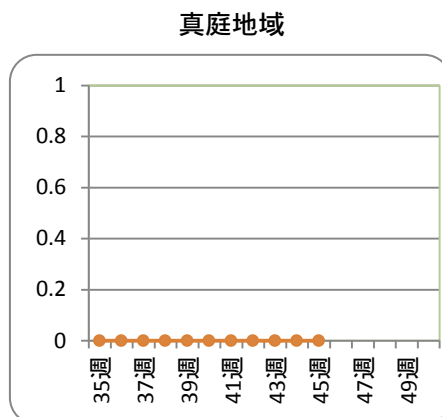
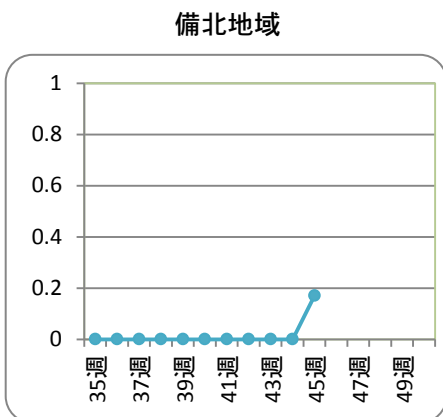
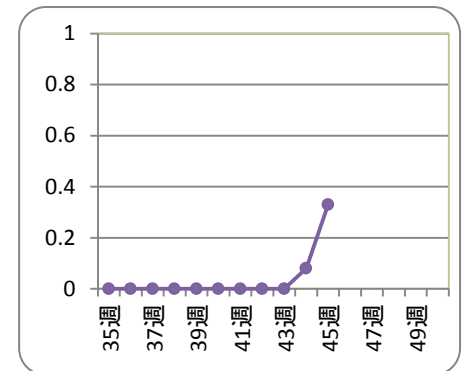
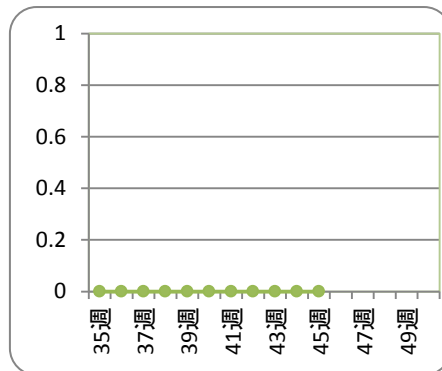
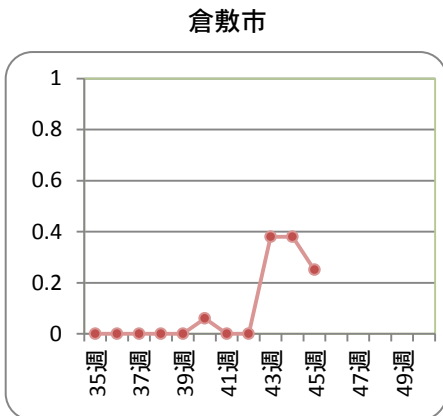
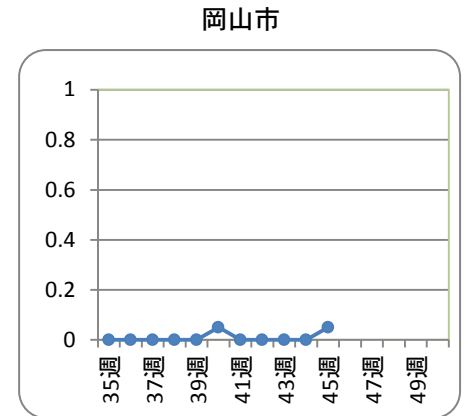
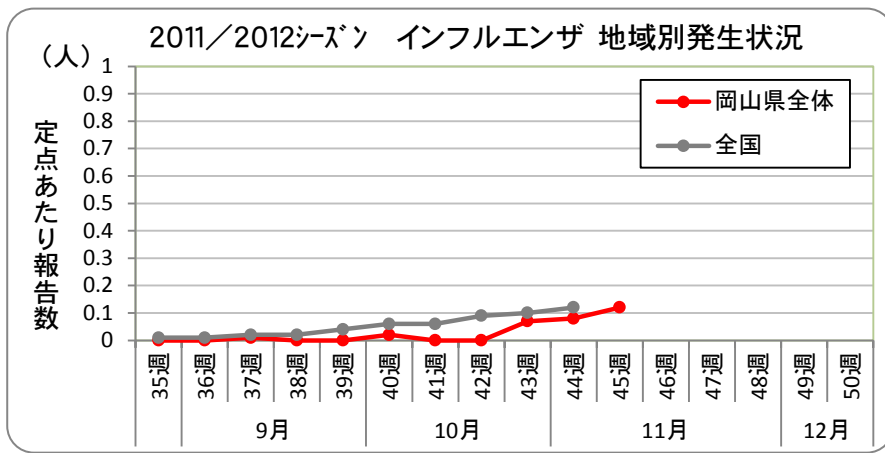


地域別発生状況

第45週(11/7~11/13)の推移(単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	10	↗	備 中	患者数	4	↗
	定点あたり	0.12			定点あたり	0.33	
岡山市	患者数	1	↗	備 北	患者数	1	↗
	定点あたり	0.05			定点あたり	0.17	
倉敷市	患者数	4	↘	真 庭	患者数	0	—
	定点あたり	0.25			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	0	—	美 作	患者数	0	—
	定点あたり	0.00			定点あたり	0.00	

【記号の説明】 前週からの推移: ↓ 2倍以上の減少 ↘ 1.1~2倍未満の減少 ↗ 1.1未満の増減
 ↗ 1.1~2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加

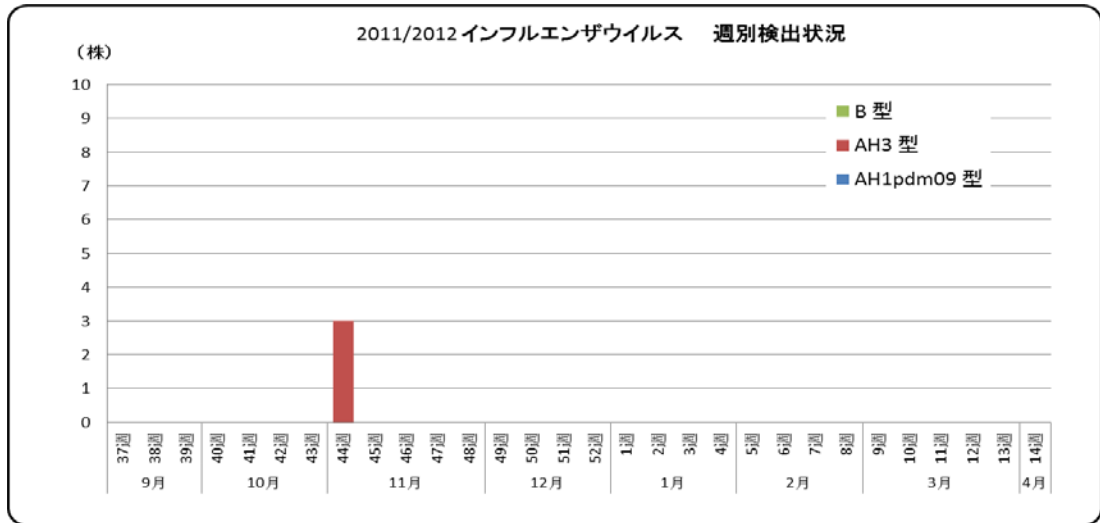


インフルエンザウイルス検出状況

第 45 週（11/7～11/13）に検出されたインフルエンザウイルス

今週、検出されたインフルエンザウイルスはありません。

2011/2012 シーズン インフルエンザウイルス検出状況



インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第 45 週（11/7～11/13）

今週、学校等の臨時休業はありませんでした。

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名	有症者数		欠席者数		施設数合計		休校数		学年閉鎖 学校数		学級閉鎖 学校数		初発 年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累積	今週	累積	今週	累積	今週	累積	
岡山県全体	—	14	—	13	—	1	—	—	—	1	—	—	H23. 10. 31
岡山市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
倉敷市	—	14	—	13	—	1	—	—	—	1	—	—	H23. 10. 31
備前	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
備中	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
備北	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
真庭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
美作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

臨時休業施設数の内訳 第 45 週（11/7～11/13）

今週、学校等の臨時休業はありませんでした。

累計：1施設

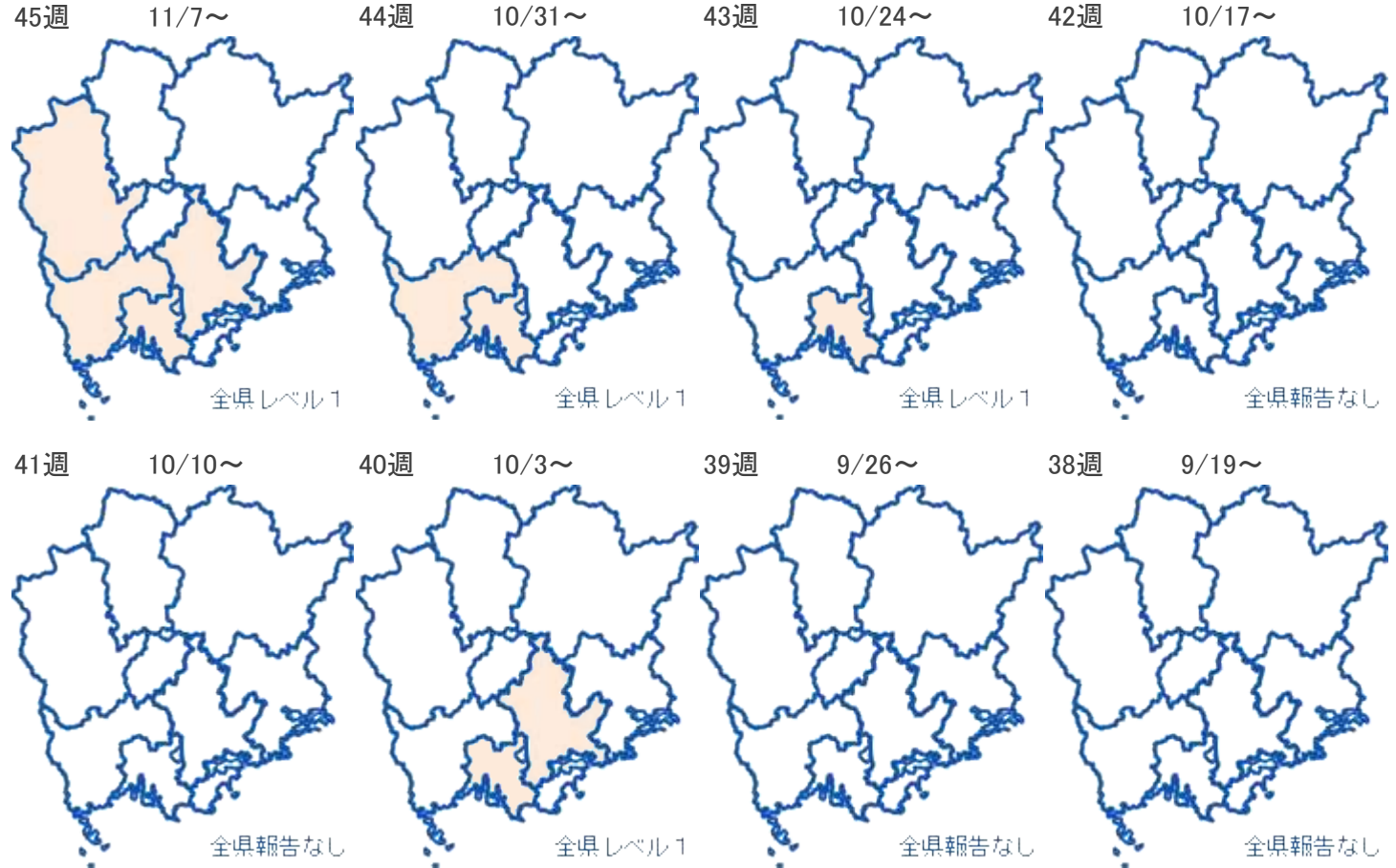
	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累積	今週	累積	今週	累積	今週	累積	今週	累積	今週	累積
施設数	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2011年 45週

2011年11月16日

11:50:48



インフルエンザ

レベル3		レベル2		レベル1		報告なし	
開始基準値	終息基準値	基準値		基準値		基準値	
30	10	10 以上 30 未満		0 < 10 未満		0	

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。

保健所別報告患者数 2011年 45週 (2011/11/07～2011/11/13)

2011年11月16日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	10	0.12	1	0.05	4	0.25	-	-	4	0.33	1	0.17	-	-	-	-
RSウイルス感染症	40	0.74	14	1.00	16	1.45	2	0.20	6	0.86	-	-	-	-	2	0.33
咽頭結膜熱	9	0.17	2	0.14	1	0.09	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	0.63	13	0.93	11	1.00	-	-	4	0.57	-	-	2	1.00	4	0.67
感染性胃腸炎	290	5.37	78	5.57	64	5.82	43	4.30	33	4.71	10	2.50	8	4.00	54	9.00
水痘	41	0.76	21	1.50	8	0.73	2	0.20	6	0.86	-	-	1	0.50	3	0.50
手足口病	119	2.20	50	3.57	21	1.91	13	1.30	13	1.86	3	0.75	1	0.50	18	3.00
伝染性紅斑	4	0.07	2	0.14	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	26	0.48	8	0.57	6	0.55	5	0.50	2	0.29	-	-	1	0.50	4	0.67
百日咳	1	0.02	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	55	1.02	16	1.14	11	1.00	8	0.80	19	2.71	1	0.25	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	2	0.40	1	0.25	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	7	1.40	3	3.00	3	3.00	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 45週 (2011/11/07~2011/11/13)

2011年11月16日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	10	0.12	1	0.05	4	0.25	-	-	4	0.33	1	0.17	-	-	-	-
咽頭結膜熱	9	0.17	2	0.14	1	0.09	-	-	4	0.57	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	0.63	13	0.93	11	1.00	-	-	4	0.57	-	-	2	1.00	4	0.67
感染性胃腸炎	290	5.37	78	5.57	64	5.82	43	4.30	33	4.71	10	2.50	8	4.00	54	9.00
水痘	41	0.76	21	1.50	8	0.73	2	0.20	6	0.86	-	-	1	0.50	3	0.50
手足口病	119	2.20	50	3.57	21	1.91	13	1.30	13	1.86	3	0.75	1	0.50	18	3.00
伝染性紅斑	4	0.07	2	0.14	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	0.02	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	0.04	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
流行性耳下腺炎	55	1.02	16	1.14	11	1.00	8	0.80	19	2.71	1	0.25	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	0.33	2	0.40	1	0.25	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2011年 第45週 2011/11/07~2011/11/13)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	10	-	-	1	1	-	1	1	1	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	40	13	10	8	5	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	9	1	-	2	2	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	-	-	-	2	2	4	7	2	4	2	3	6	-	2
感染性胃腸炎	290	3	16	43	19	18	21	35	17	13	15	13	32	9	36
水痘	41	2	1	6	9	9	9	1	-	1	1	-	2	-	-
手足口病	119	1	4	38	35	14	12	5	4	1	2	1	2	-	-
伝染性紅斑	4	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	26	-	17	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	55	-	1	5	5	7	12	5	3	7	2	2	5	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	7	-	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

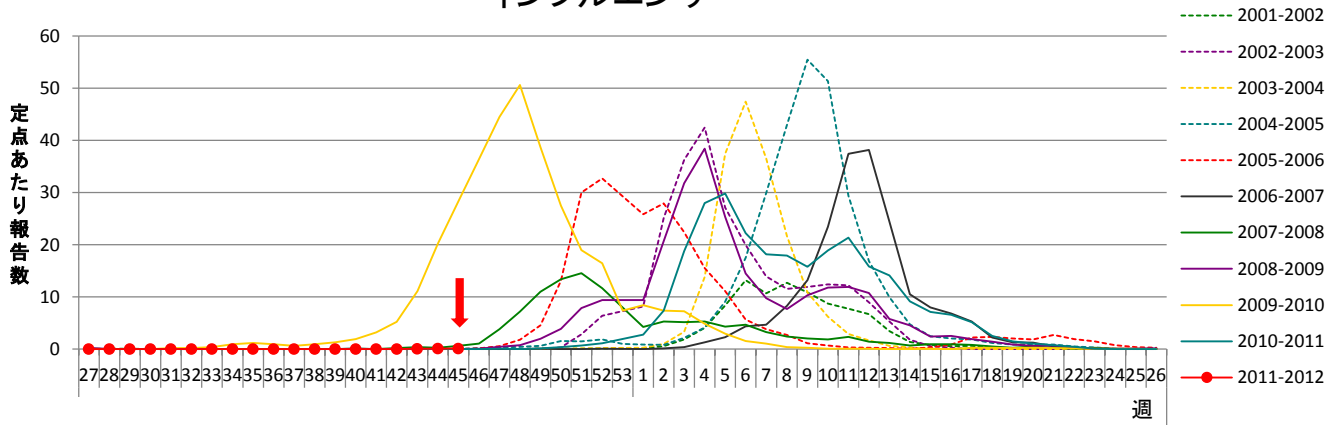
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

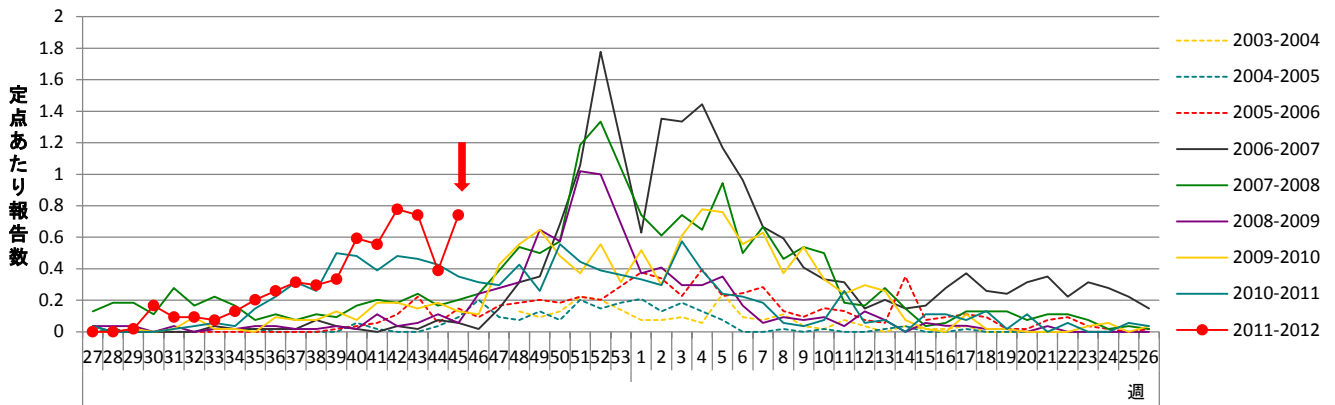
2011年 45週

分類	疾病名	2011		2010	疾病名	2011		2010	疾病名	2011		2010
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	408	350	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	60	66
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	3	2
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	-	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	2	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	1	-
	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	19	19	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	10	13	ウイルス性肝炎*3	-	7	7	急性脳炎*4	-	3	1
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	2	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	1
	後天性免疫不全症候群	-	13	22	ジアルジア症	-	2	5	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	9	9	破傷風	-	2	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	風しん	-	1	2
	麻しん	-	4	3		-	-	-		-	-	-

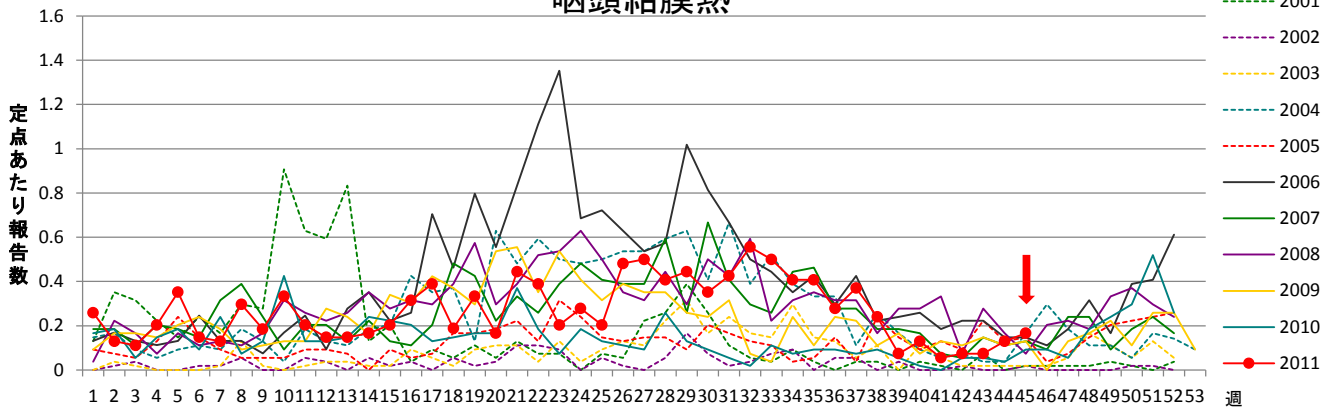
インフルエンザ



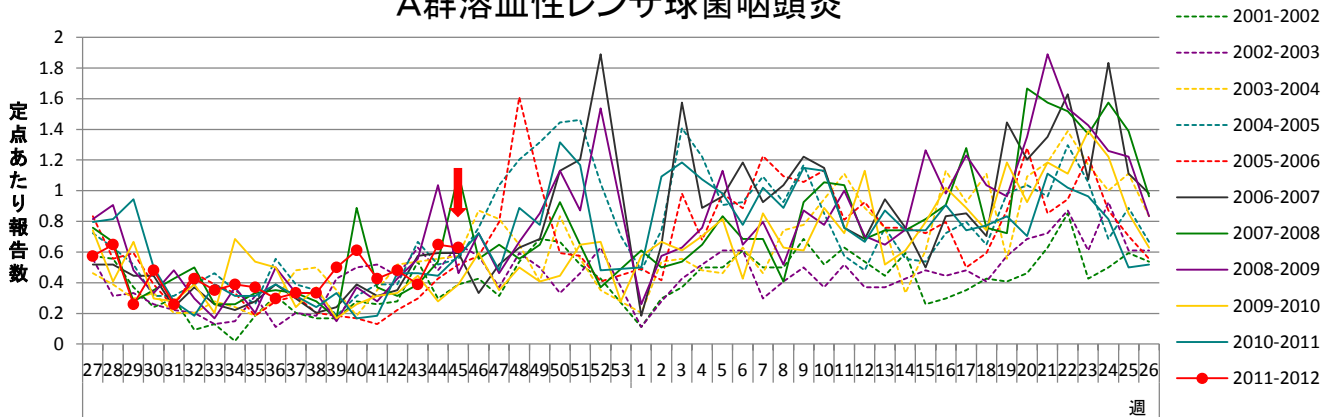
RSウイルス感染症



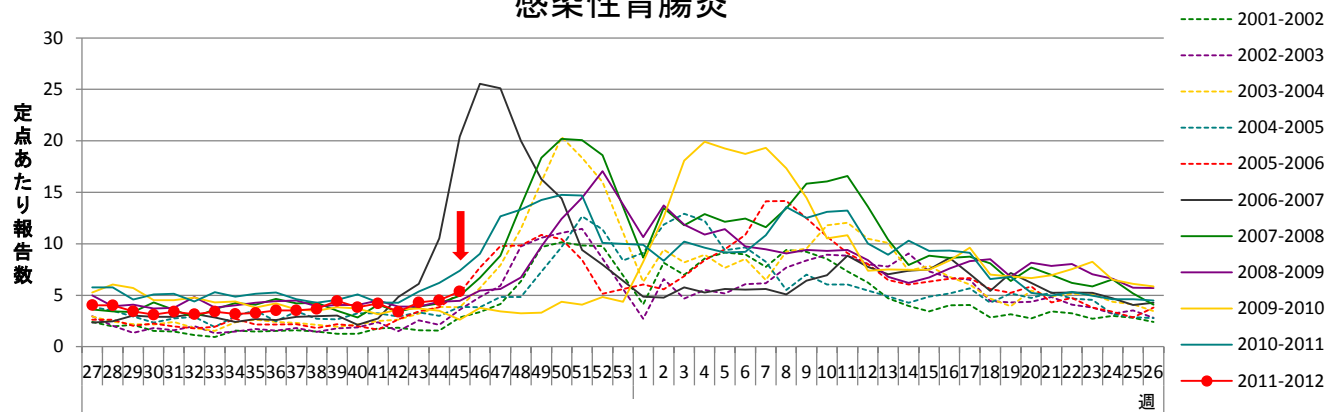
咽頭結膜熱



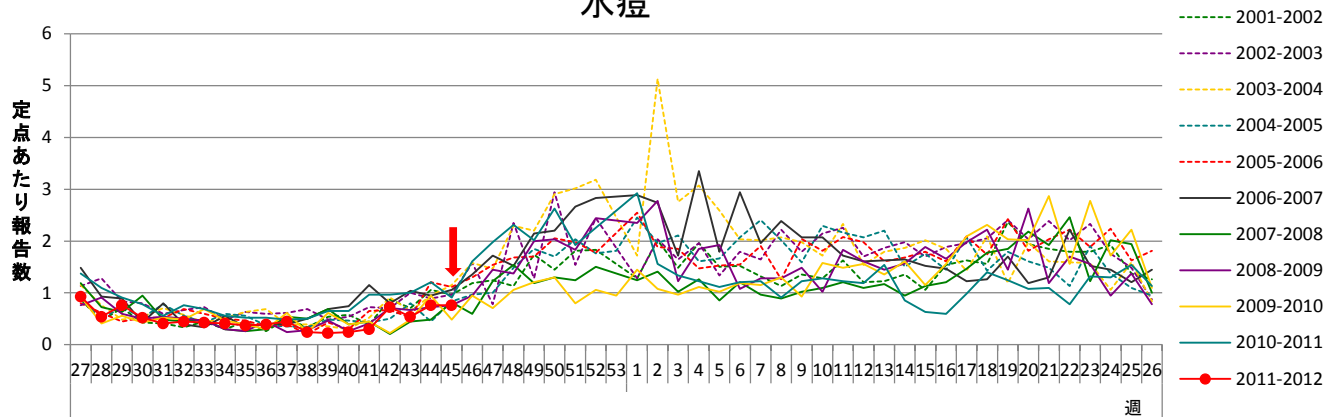
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



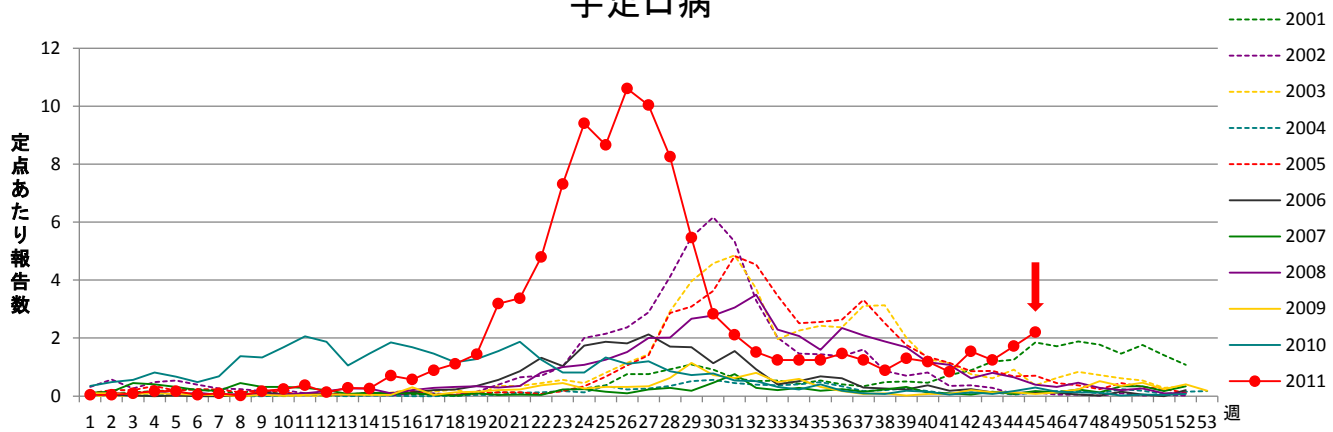
感染性胃腸炎



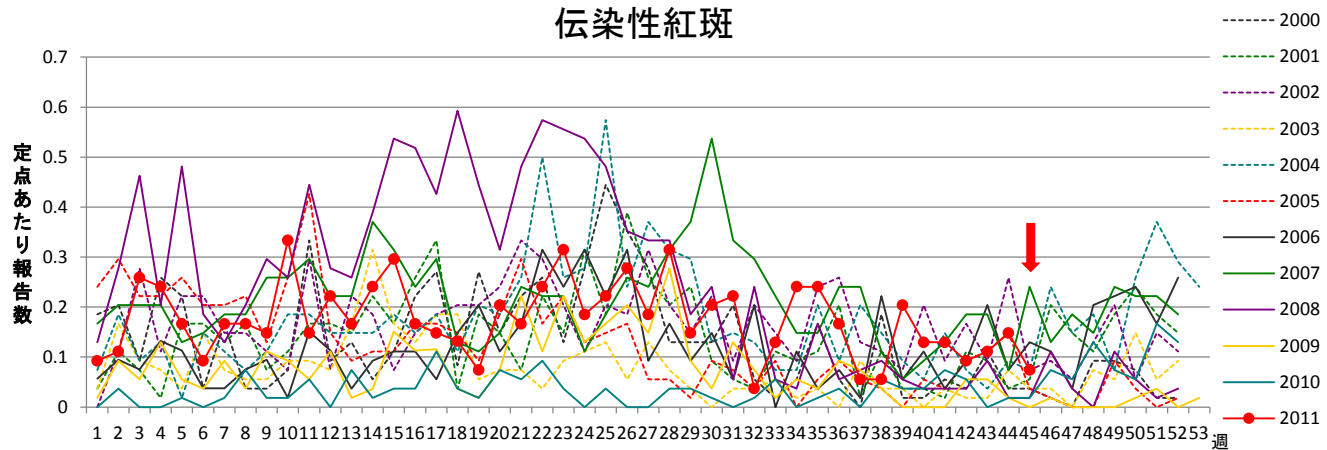
水痘



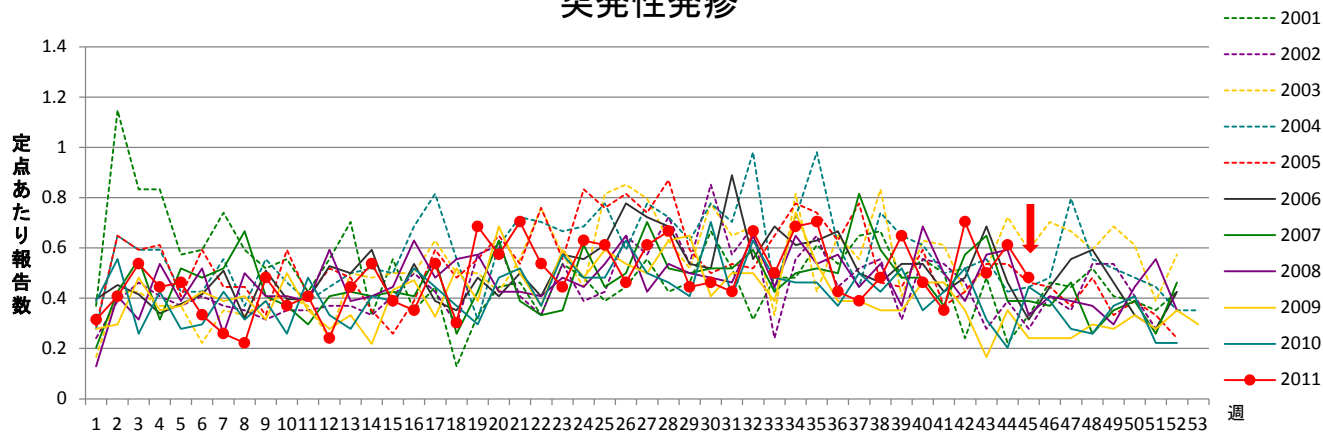
手足口病



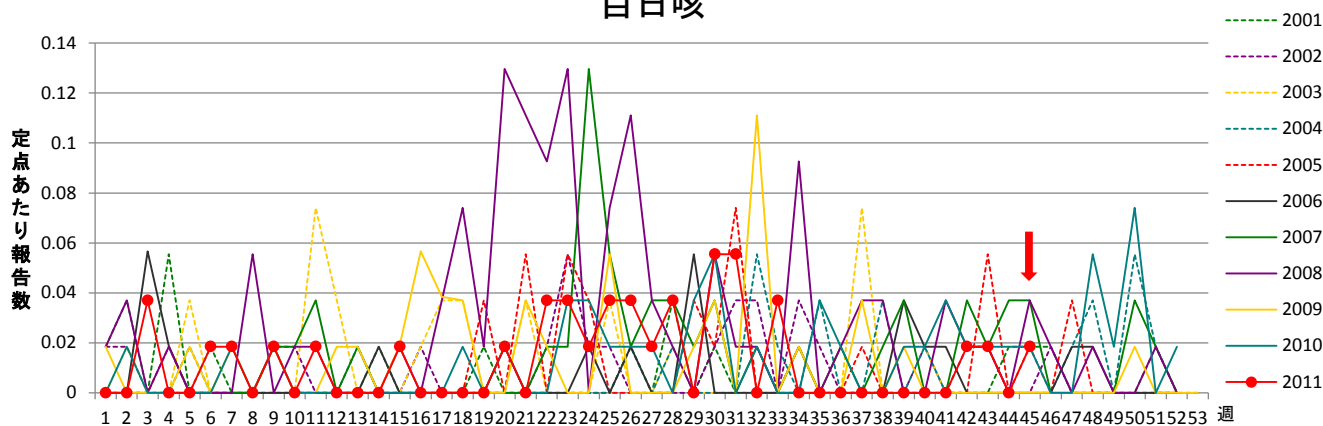
伝染性紅斑



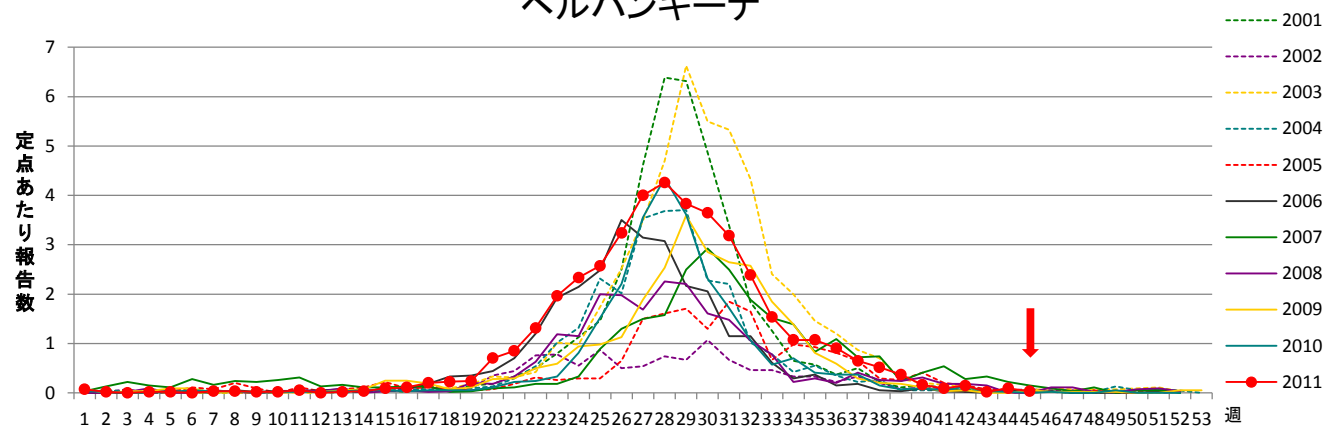
突発性発疹



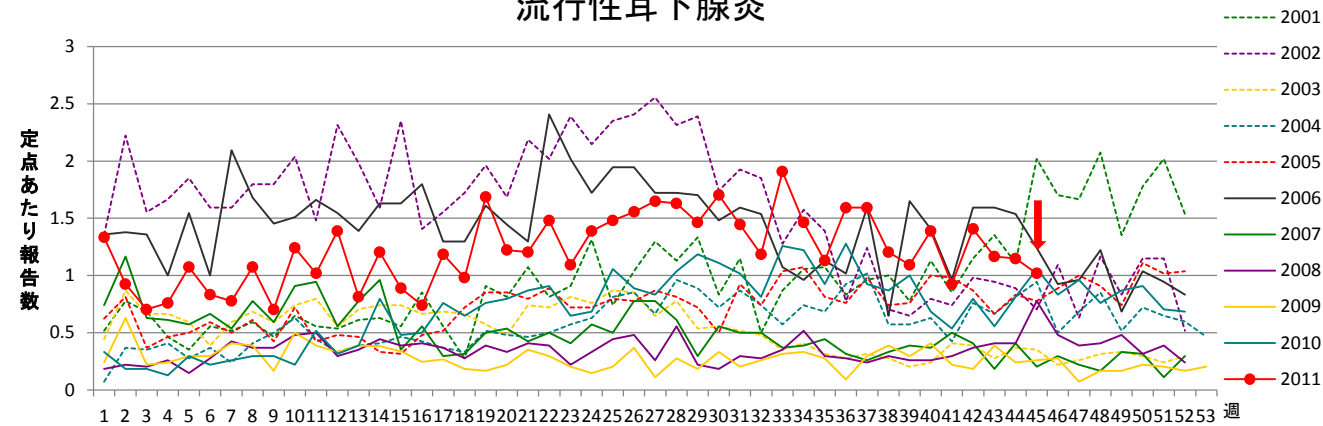
百日咳



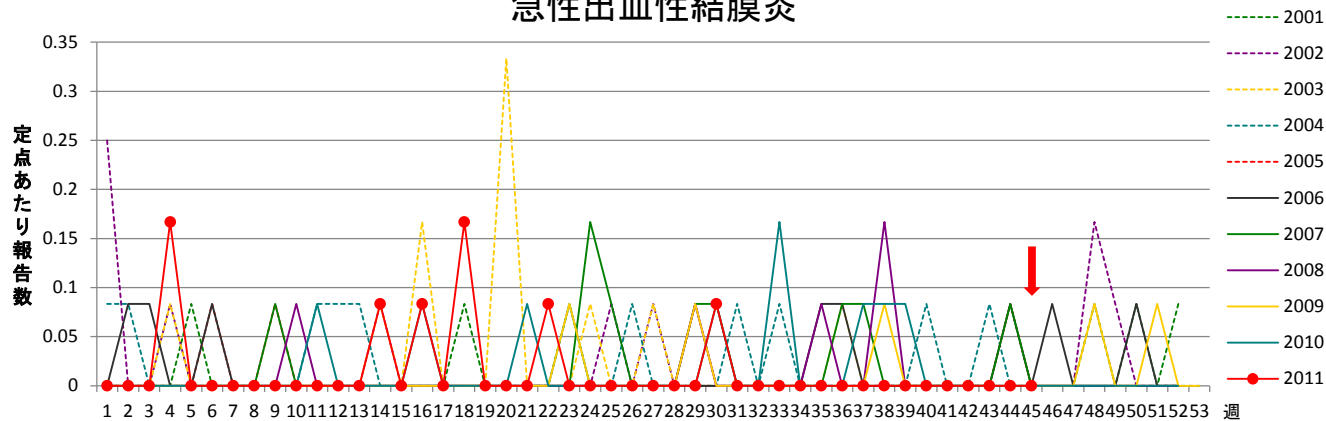
ヘルパンギーナ



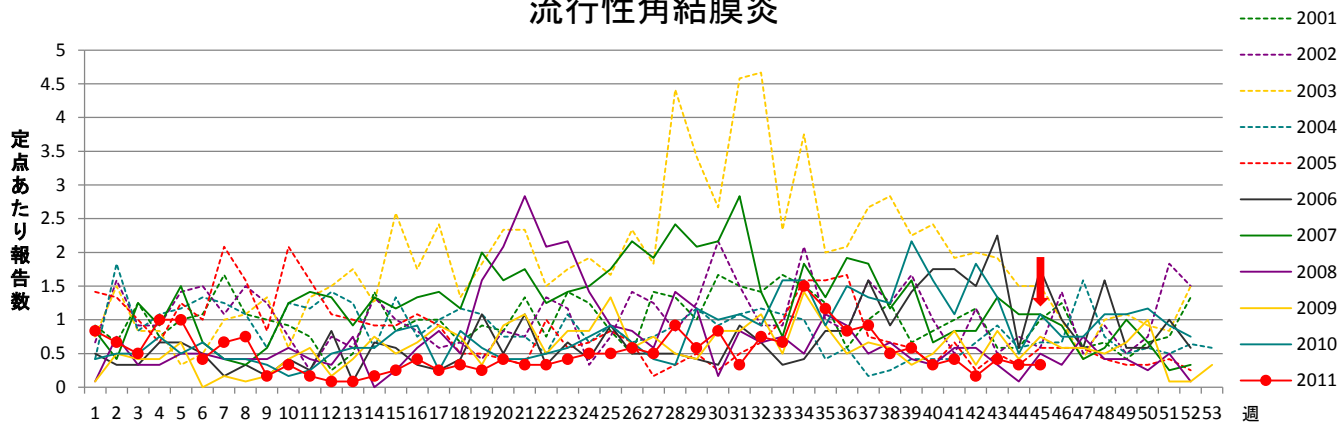
流行性耳下腺炎



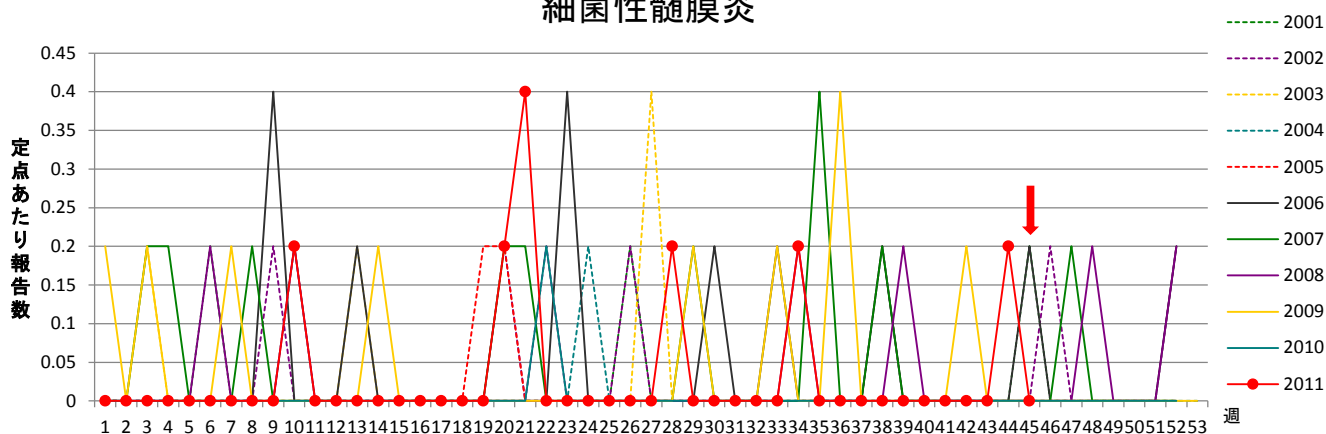
急性出血性結膜炎



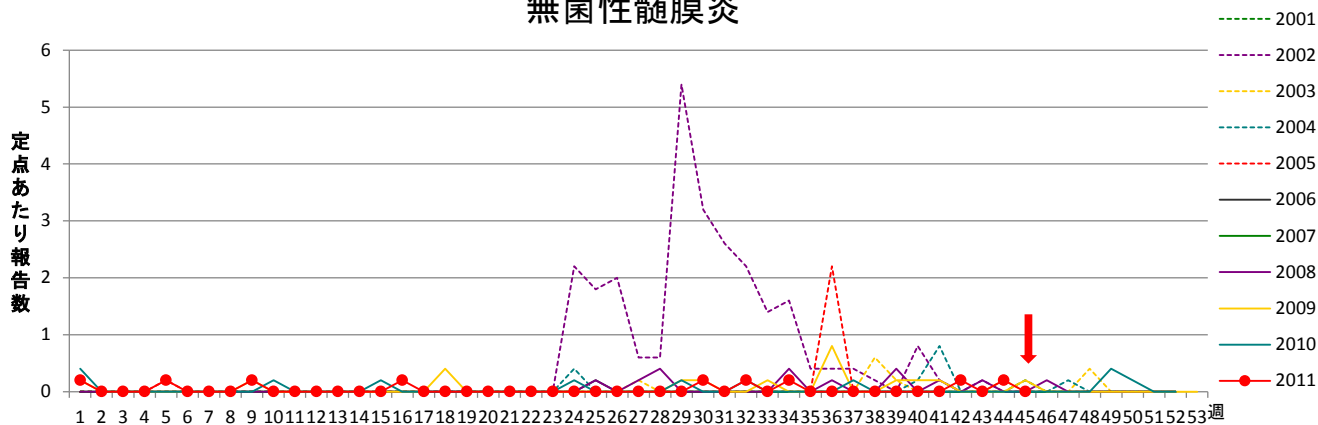
流行性角結膜炎



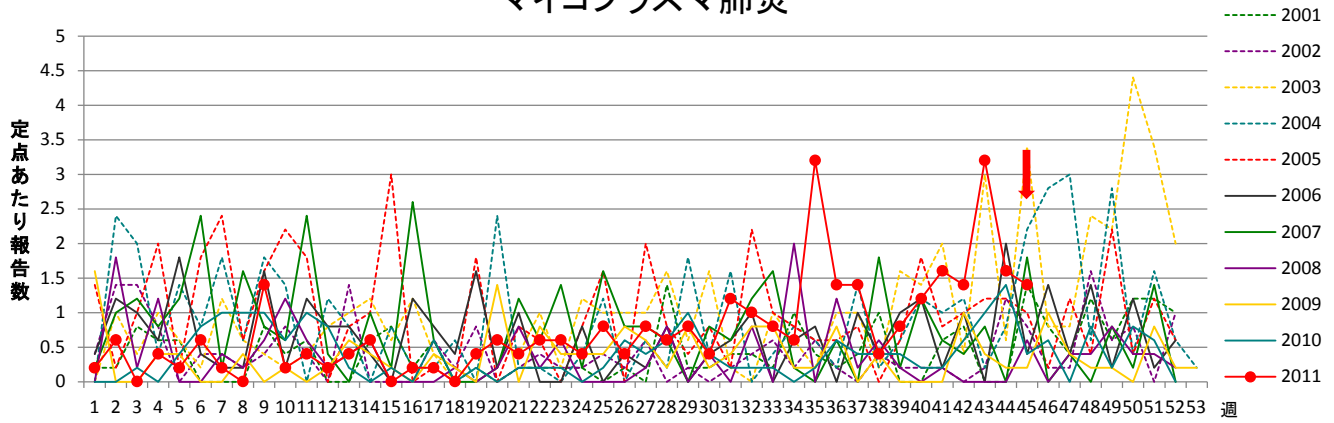
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎

